

Ⅲ お わ り に

「発達と障害に応じた指導」のテーマで研究をすすめて2年目を迎えた本年度は、6つの研究グループを設け、実践的研究を中心に取り組んできました。

各研究グループのテーマはいずれも、毎日の学習指導に直接関わりの深いことがらばかりなので、研究活動がごく日常的にすすめられるようになり、2年目に入った本校の研究体制が、次第に定着してきていると感じています。

又、私たちの研究に父母が積極的に参加するとか、共に学習会を開くなど、研究を取り巻く人の輪が広がってきたことも、本年度の特筆すべきことの一つであります。からだづくりグループが活動種目としているトランポリンの指導に、トランポリン協会普及指導員の資格を持つ母親の協力を頂きましたし、性指導グループが父親や母親を対象に性に関する学習会を開いて、学校と家庭がこの問題に関して互いに理解を深め合い、研究の底辺を広げてきました。

毎週水曜の昼食時には子供たちが和室に集まってきます。この日は「絵本の日」と呼ばれ、読み聞かせグループの実践の場の一つで、毎回新しい作品が紹介される楽しい催しです。この日を心待ちにしている毎週かかさず参加している常連も大勢いるくらいに定着してきました。

このように、各研究グループのテーマの特性に応じて、学校生活のさまざまな場に活動が広がっていくとか、研究に関する試みが行われるとか、成果が学校生活にすぐ反映されるなど、言うなれば小回りのきく研究体制であり、研究テーマであると考えています。そして、日々の研究活動を通して家庭との連携をはかりながら、子供たちに豊かな生活経験を積ませたいというのが私たちの願いです。

本校の教育研究には、テーマ別のグループによる研究と表裏一体をなすものではありませんが、教育課程に基づく学習指導の日々の実践があることは言うまでもないことです。今年度はこの部分について特別にふれることはできませんでしたが、次の機会にはぜひこれらについても取り上げたいと考えています。又、グループ別の研究についても、学習指導要領が改訂されることでもありますし、さらに新しいテーマを求めていきたいと考えています。

本年度の研究協議会では、6つの研究グループが夫々に授業を公開し、分科会を持ちました。又、学校が主催するこうした会にPTAが独自に分科会を持って参加するのは本校の特色の一つかと思いますが、今年で3年目となりました。そして本年度は「卒業後の進路について考える」をテーマにして、親の願いや夢を語り合う会にしました。

先生方の御指導をよろしくお願いします。

(加 藤 定 雄)